

2023年3月期 第1四半期 決算説明資料

2022年8月5日
ステラケミファ株式会社
(証券コード：4109)

【決算説明資料】

- ・業績ハイライト P. 3
- ・決算概要 P. 4 – 11
- ・業績予想 P. 12 – 15
- ・株主還元 P. 16

【参考資料（会社概要・事業紹介）】

- ・会社概要 P. 18
- ・主要子会社および関連会社 P. 19
- ・事業紹介 P. 20 – 33

【2023年3月期1Q実績】

- ◆ 半導体部門は前年同期と比較して国内・海外ともに売上増加
- ◆ 主要原材料である無水フッ化水素酸の価格は前年同期と比較して上昇
- ◆ 中国の持分法適用関連会社において、リチウムイオン二次電池用電解質の中国国内の市場価格高騰により好業績で推移した結果、持分法による投資利益を計上

【通期見通し】

- ◆ 保有する投資有価証券（非上場有価証券1銘柄）の売却により、2Qに12億円超の特別利益を計上する見込み
- ◆ 無水フッ化水素酸の価格や為替動向等、不確定要素の業績への影響を注視

決算概要

(単位：百万円)	2022年3月期 1Q	2023年3月期 1Q	増減	増減率(%)
売上高	8,896	9,764	867	9.8
売上総利益	2,297	2,163	△134	△5.8
営業利益	1,291	1,291	△0	△0.0
経常利益	1,282	1,783	500	39.1
親会社株主に 帰属する四半期純利益	802	1,295	492	61.4
1株当たり 四半期純利益(円)	62.66	103.55		
設備投資額	332	1,026	694	209.2
減価償却費	663	663	△0	△0.1
研究開発費	170	123	△47	△27.9

セグメント別 売上高・営業利益

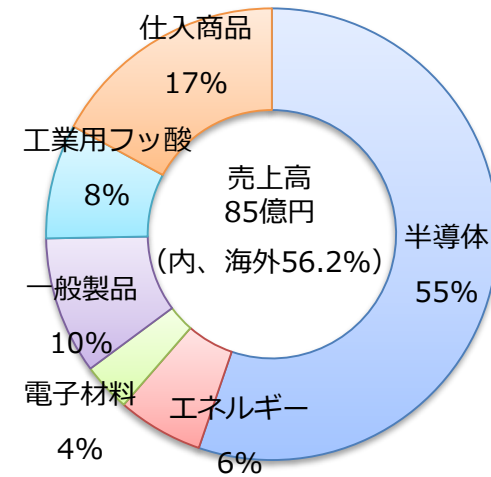
(単位：百万円)	売上高				営業利益			
	2022年3月期 1Q	2023年3月期 1Q	増減		2022年3月期 1Q	2023年3月期 1Q	増減	
			金額	%			金額	%
高純度薬品	7,708	8,577	868	11.3	1,401	1,135	△265	△19.0
運輸	1,141	1,146	5	0.5	193	154	△38	△20.1
メディカル	7	-	△7	-	△182	-	182	-
その他	38	40	1	4.0	2	3	1	68.1
消去又は 全社	-	-	-	-	△123	△2	120	-
合計	8,896	9,764	867	9.8	1,291	1,291	△0	△0.0

高純度薬品事業 売上高（内訳）

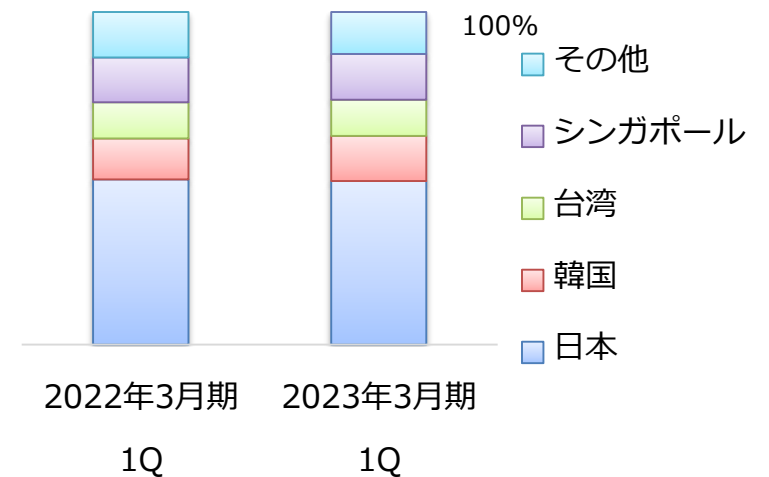


（単位：百万円）	2022年3月期 1Q	2023年3月期 1Q	増減	増減率 （%）
半導体	4,191	4,738	547	13.1
エネルギー	992	527	△465	△46.9
電子材料	270	297	27	10.1
一般製品	546	844	298	54.6
工業用フッ酸	881	704	△177	△20.1
仕入商品	826	1,465	638	77.2
合計	7,708	8,577	868	11.3

2023年3月期1Q 売上高構成比

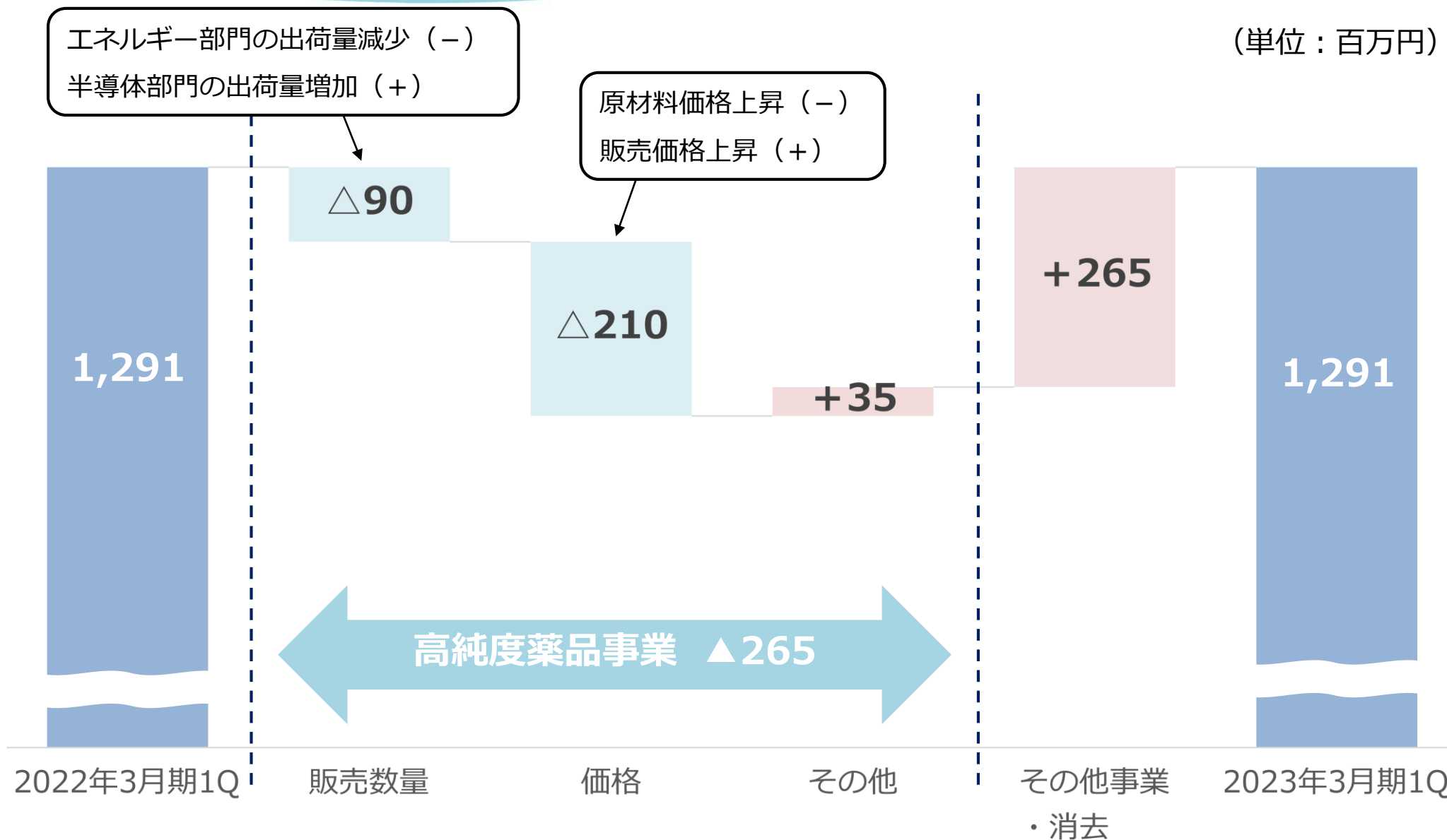


半導体液晶 国別出荷割合



営業利益増減分析（前年同期比）

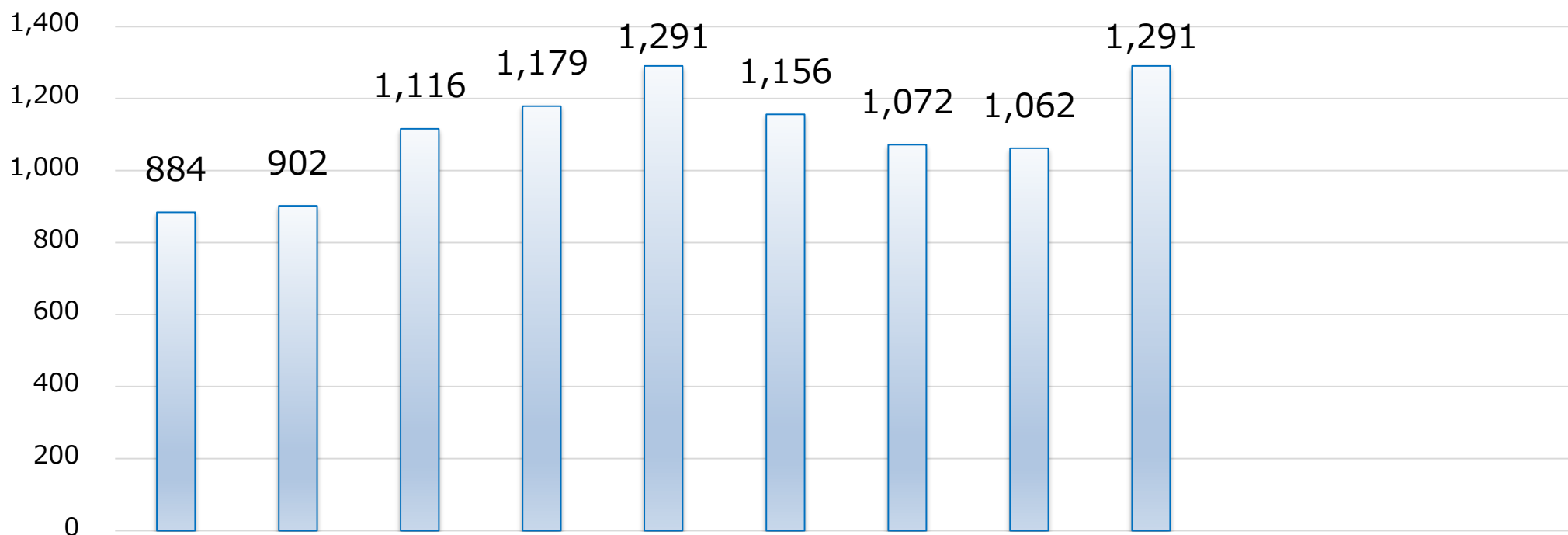
(単位：百万円)



営業利益推移



(単位 : 百万円)



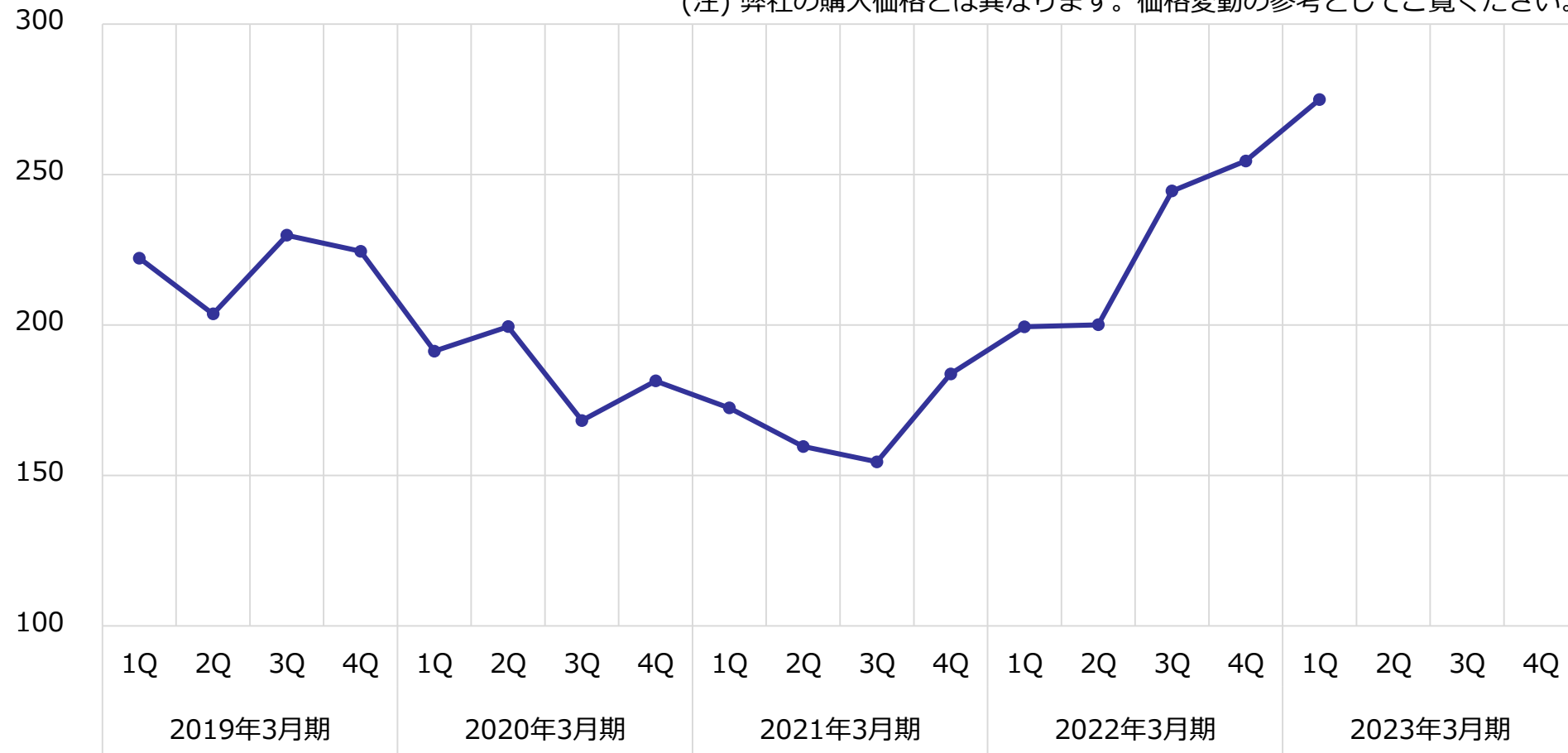
	2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	8,222	8,389	8,315	7,965	8,896	9,212	9,015	10,171	9,764			
営業利益	884	902	1,116	1,179	1,291	1,156	1,072	1,062	1,291			
営業利益率	10.8%	10.8%	13.4%	14.8%	14.5%	12.5%	11.9%	10.4%	13.2%			

無水フッ化水素酸 貿易統計価格推移



(円/kg)

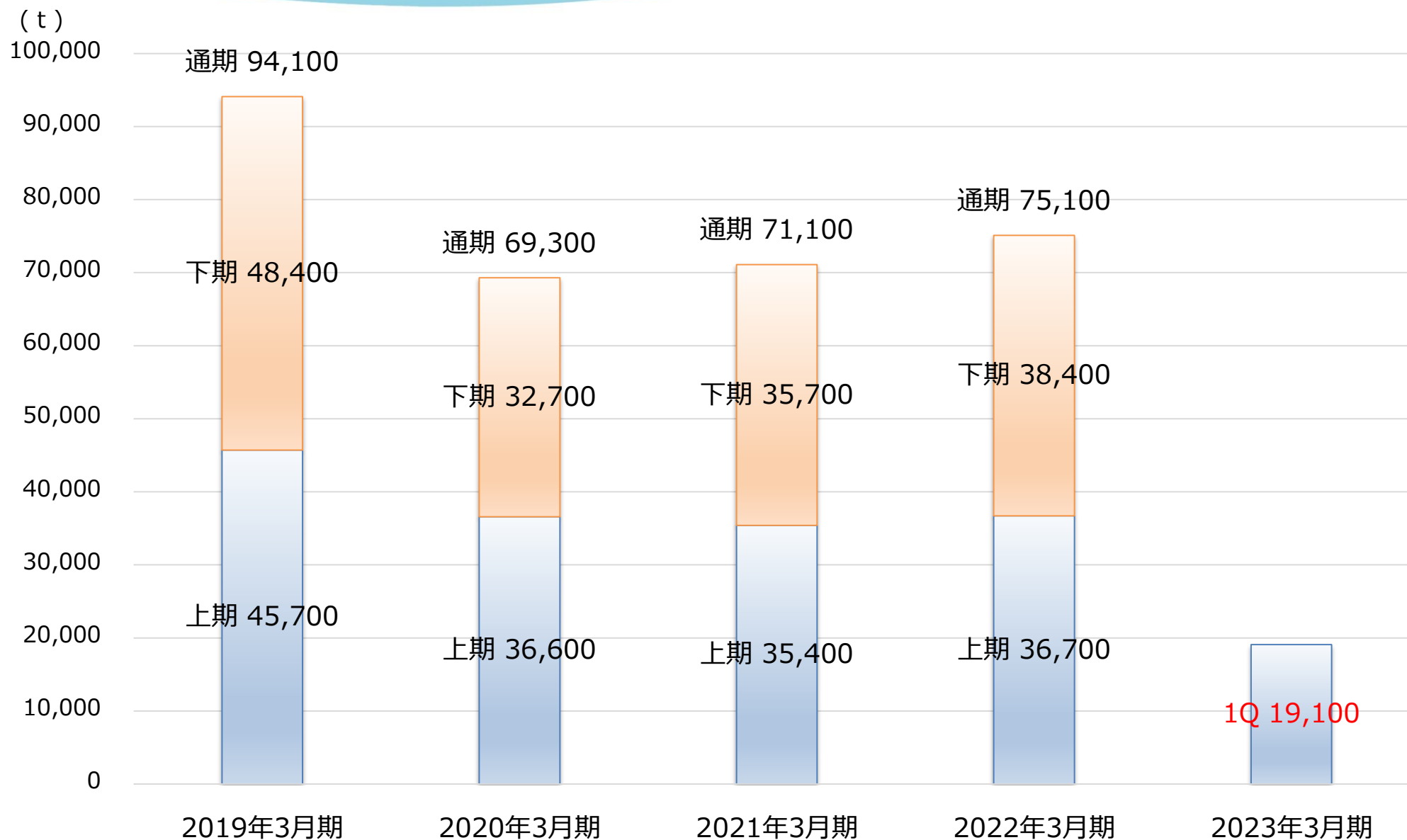
(注) 弊社の購入価格とは異なります。価格変動の参考としてご覧ください。



(単位 : 円/kg)	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期 1Q
平均価格	220	186	168	225	275

出所 : 財務省「財務省 貿易統計」(<http://www.customs.go.jp/toukei/info/>)より弊社作成

高純度フッ化水素酸（半導体） 出荷量推移



貸借対照表

(単位：百万円)	2022年3月期 期末	2023年3月期 1Q	増減	増減率(%)
資産	56,598	56,495	△102	△0.2
現預金	15,895	16,190	294	1.9
営業債権	8,642	8,374	△268	△3.1
棚卸資産	5,271	4,252	△1,018	△19.3
有形固定資産	21,667	22,273	605	2.8
無形固定資産	375	347	△28	△7.5
負債	13,869	12,484	△1,385	△10.0
営業債務	3,522	3,470	△51	△1.5
有利子負債	5,594	5,222	△372	△6.7
純資産	42,728	44,011	1,282	3.0
自己資本	42,170	43,446	1,276	3.0
負債純資産	56,598	56,495	△102	△0.2

業績予想

(単位：百万円)	2022年3月期 実績	2023年3月期 予想	増減	増減率(%)
売上高	37,296	37,500	203	0.5
営業利益	4,583	4,600	16	0.4
経常利益	5,707	5,800	92	1.6
親会社株主に 帰属する当期純利益	5,364	4,200	△1,164	△21.7
1株当たり 当期純利益(円)	422.97	335.63		
配当金額(円)	60	60		
ROE(%)	13.7	9.6		
設備投資額	2,648	4,900	2,251	85.0
減価償却費	2,713	2,500	△213	△7.9
研究開発費	744	600	△144	19.4

セグメント別 売上高・営業利益予想



(単位：百万円)	売上高				営業利益			
	2022年3月期 実績	2023年3月期 予想	増減		2022年3月期 実績	2023年3月期 予想	増減	
			金額	%			金額	%
高純度薬品	32,330	32,930	599	1.9	4,776	3,990	△786	△16.5
運輸	4,676	4,370	△306	△6.6	764	570	△194	△25.5
メディカル	100	-	△100	-	△729	-	729	-
その他	189	200	10	5.6	20	30	9	43.2
消去又は 全社	-	-	-	-	△248	10	258	-
合計	37,296	37,500	203	0.5	4,583	4,600	16	0.4

高純度薬品事業 表記区分の変更について

高純度薬品事業におきまして、これまで9つの区分で表記しておりましたが、現在の事業戦略および事業規模と照らし合わせ、2023年3月期より下表の6つの区分に表記を変更いたします。

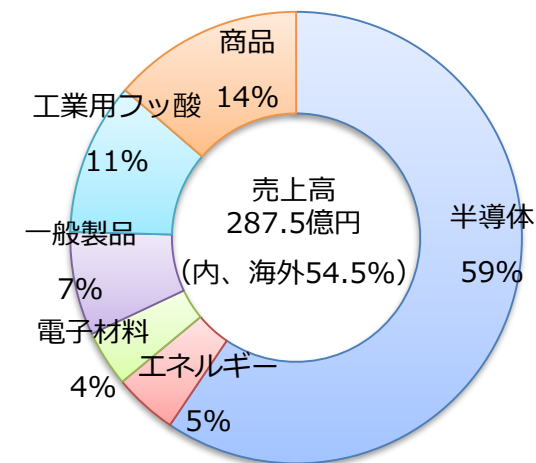
高純度薬品事業 新区分(2023年3月期より)

新区分（6区分）	新区分の詳細	（参考）旧区分
半導体	半導体・液晶用高純度フッ酸	半導体液晶
エネルギー	電池用フッ化物	電池
	濃縮ホウ素	一般製品
電子材料	半導体装置・コンデンサー材料用フッ化物	半導体装置
	研究開発品（蛍光体関連材料等）	一般製品
一般製品	反応触媒用フッ化物	反応触媒
	歯磨き用フッ化物（フッ化スズ）	一般製品
	その他フッ化物	一般製品
工業用フッ酸	表面処理用フッ酸	表面処理
	代替フロン用無水フッ酸	代替フロン
	石膏	石膏
仕入商品	代替フロン用無水フッ酸(仕入販売)	代替フロン
	商品	商品

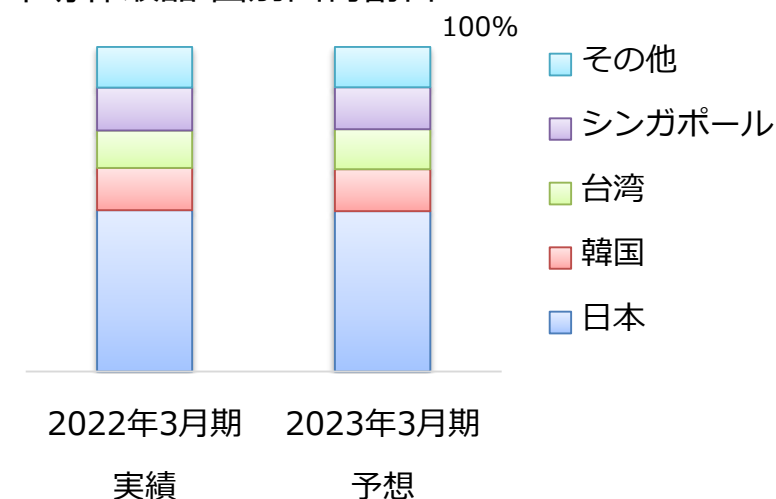
高純度薬品事業 売上高予想（内訳）

(単位：百万円)	2022年3月期 実績	2023年3月期 予想	増減	増減率 (%)
半導体	17,859	19,570	1,710	9.6
エネルギー	3,121	1,500	△1,621	△51.9
電子材料	1,280	1,320	39	3.1
一般製品	2,246	2,440	193	8.6
工業用フッ酸	3,919	3,600	△319	△8.1
仕入商品	3,904	4,500	595	15.3
合計	32,330	32,930	599	1.9

2023年3月期予想 売上高構成比



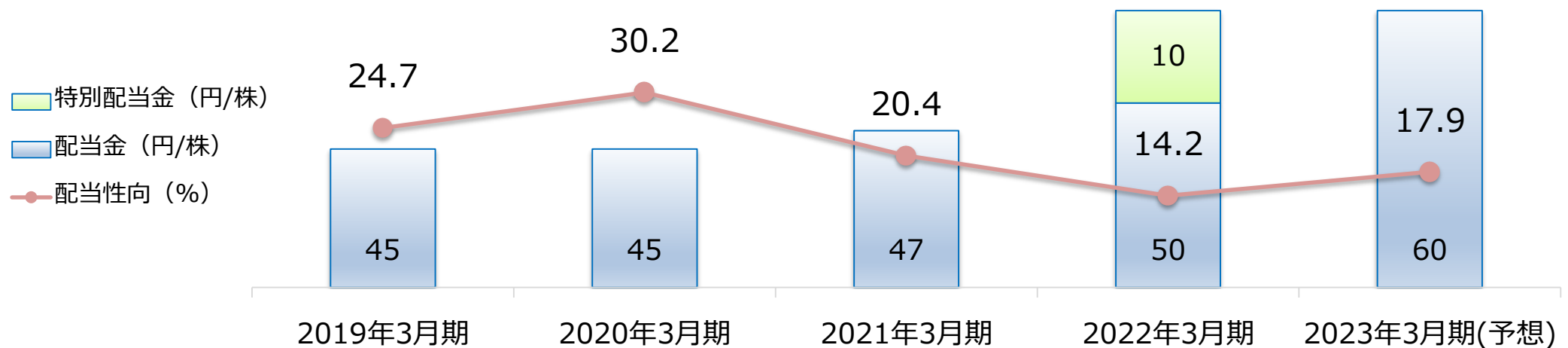
半導体液晶 国別出荷割合



株主還元

配当については、財務状況および利益水準等を総合的に勘案したうえで、安定的かつ継続的に配当を実施することを基本方針としています。内部留保金は設備投資および研究開発投資等に充当し、今後の事業展開に積極的に活用し、企業価値を高めるよう努力いたします。

- ◆ 2022年3月期
 - 年間配当 60円/株（普通配当 50円、特別配当 10円）
 - 30万株、8.4億円の自己株式取得を実施
- ◆ 2023年3月期
 - 年間配当予想 60円/株



参考資料

(会社概要・事業紹介)

会社概要



(2022年6月30日 現在)

商号	ステラケミファ株式会社 (STELLA CHEMIFA CORPORATION)	
所在地	大阪府大阪府中央区伏見町四丁目1番1号 明治安田生命大阪御堂筋ビル10階	
創業 / 設立	1916 (大正5) 年2月 / 1944 (昭和19) 年2月	
資本金	48億2,978万2,512円	
代表者	代表取締役社長 橋本 亜希 代表取締役専務 (生産統括) 坂 喜代憲	
URL	https://www.stella-chemifa.co.jp/	
従業員数	289名	
営業部拠点	大阪営業部 (大阪府大阪府中央区) 東京営業部 (東京都千代田区)	
工場	三宝工場 (大阪府堺市堺区) 泉工場 (大阪府泉大津市) 北九州工場 (福岡県北九州市八幡西区)	

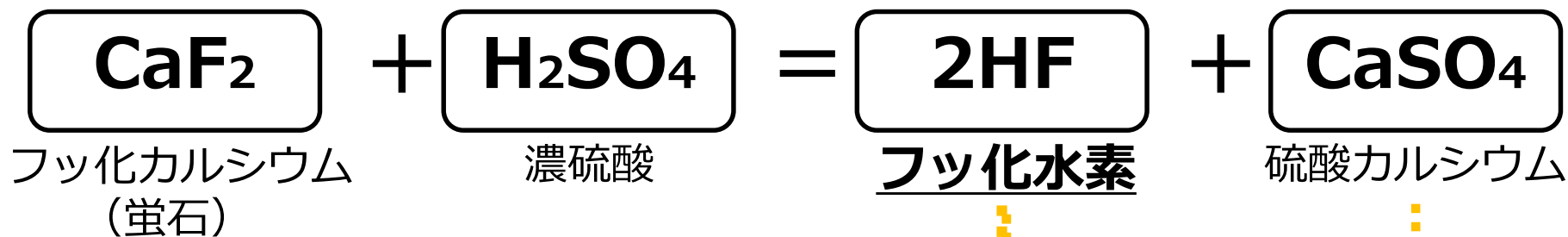
国内（3社）

運輸事業	ブルーエクスプレス株式会社	大阪府 堺市 堺区
その他事業	ブルーオートトラスト株式会社	大阪府 堺市 堺区
メディカル事業	ステラファーマ株式会社	大阪府 大阪市 中央区

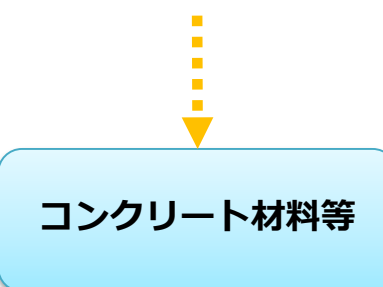
海外（6社）

高純度薬品事業	STELLA CHEMIFA SINGAPORE PTE LTD	シンガポール
運輸事業	STELLA EXPRESS (SINGAPORE) PTE LTD	シンガポール
高純度薬品事業	星青国際貿易（上海）有限公司	中国
運輸事業	青星国際貨物運輸代理（上海）有限公司	中国
高純度薬品事業	浙江瑞星フッ化工業有限公司	中国
高純度薬品事業	衢州北斗星化学新材料有限公司	中国

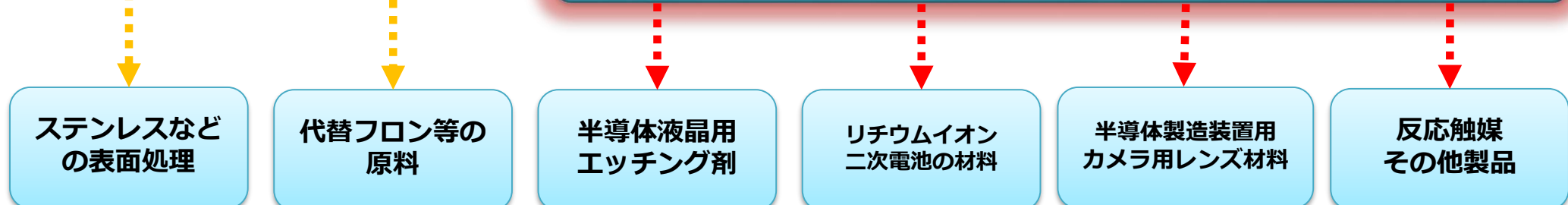
フッ化水素の製造とその用途



※ 蛍石は大きく5つの純度グレードに分けられており、半導体用途には97%以上の純度を持つ高品位な蛍石が求められる。



弊社の独自技術による反応・精製



事業紹介



高純度薬品事業

半 導 体	・半導体や液晶パネルの製造工程におけるエッチング・洗浄用薬液の製造・販売
エ ネ ル ギ ー	・リチウムイオン二次電池の性能を向上させる添加剤の製造・販売 ・原子力やがん治療（BNCT）で使われる濃縮ホウ素（ボロン10）の製造・販売
電 子 材 料	・タンタルコンデンサーで使われるタンタル製造助剤の製造・販売 ・カメラ・ステッパー用レンズ原料などの製造・販売 ・少量生産段階の研究開発品の製造・販売 ・LEDに使われる蛍光体製造用原料や蛍光体の製造・販売
一 般 製 品	・様々な化学品や医薬品の中間体製造で使用する触媒の製造・販売 ・虫歯や歯肉炎の予防効果を持たせるための歯磨き用添加剤の製造・販売 ・その他のフッ素化合物の製造・販売
工 業 用 フ ッ 酸	・代替フロン・フッ素樹脂の原料となる無水フッ化水素酸の製造・販売 ・ステンレスの酸洗浄や液晶パネルの薄化などに使用されるフッ酸の製造・販売
仕 入 商 品	・仕入商品の販売

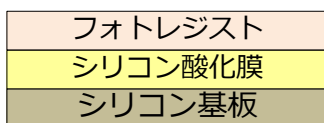
超高純度化技術

- 超精製技術、超清浄技術により、1ppt (1×10^{-12}) 以下の不純物レベルをコントロール
- 超高集積回路に対応できる超高純度薬液を量産化

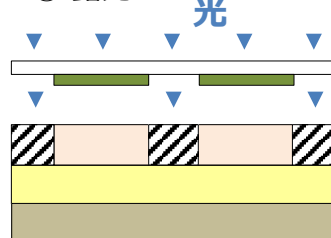
超高純度フッ化水素酸	<ul style="list-style-type: none"> フッ化水素酸(HF)は、シリコン酸化膜をエッチング除去できる唯一の薬液 半導体製造プロセスには不可欠で超高純度が要求される薬液 特に希フッ酸は、数多くの半導体プロセスで使用
超高純度バッファードフッ酸	<ul style="list-style-type: none"> フッ化水素酸 (HF) とフッ化アンモニウム (NH_4F) の混合水溶液 主に絶縁膜のエッチングや洗浄等の工程で使用 十数 Å/minから数千 Å/minの広範囲なエッチレートを持つ薬液が製造可能

使用例 (フォトリソグラフィ工程)

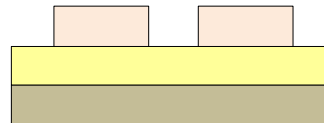
① シリコンウエハに
フォトレジスト塗布
(加熱乾燥)



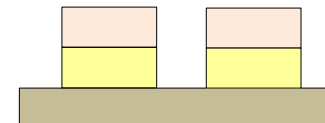
② 露光



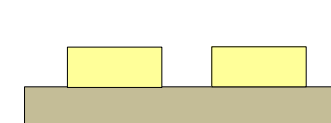
③ 現像



④ エッチング
(フッ酸系薬液でシリコン
酸化膜を溶かす)



⑤ フォトレジスト剥離



半導体用高純度フッ化水素酸の生産能力

北九州工場



(福岡県北九州市)

30,000 t / 年産

三宝工場



(大阪府堺市)

65,000 t / 年産

STELLA CHEMIFA
SINGAPORE



(シンガポール)

10,000 t / 年産

105,000 t / 年産

※フッ素化合物の総合メーカーとして、製造から充填まですべて自社技術で行っています。

添加剤

- リチウムイオン二次電池を高性能化する電解液用添加剤
- 高温耐久性・高伝導性・高容量化・低抵抗・難燃性



泉工場製造棟 (大阪府泉大津市)

六フッ化リン酸リチウム

- リチウムイオン二次電池用高純度電解質
※中国の関連会社（衢州北斗星化学新材料有限公司）にて製造・販売

リチウムイオン二次電池構成材料例

添加剤

正極・負極

セパレーター

集電体

電解質

バインダー

保護用IC

PTC素子



衢州北斗星化学新材料有限公司
(中国)



濃縮プラント
(大阪府泉大津市)

濃縮ホウ素（ボロン10）とその特徴

- 天然ホウ素（ボロン）はボロン10(20%)・ボロン11(80%)が同位体として存在
- ボロン10を99%以上に濃縮する技術を開発
- 濃縮ホウ素の大量生産技術を国内で初めて確立(2000年)
- ボロン10は、中性子吸収能力が極めて高い性質があり、濃度を高めることでさらにその吸収能力が向上する

生産能力

品目		生産能力
濃縮ホウ素	^{10}B	6,000kg
濃縮ホウ酸	$\text{H}_3^{10}\text{BO}_3$	36,000kg
濃縮ホウフッ化カリウム	K^{10}BF_4	75,000kg

濃縮ホウ素化合物の用途

- 使用済み核燃料の輸送・貯蔵容器の中性子吸収材
- 原子炉の制御棒の材料や、使用済み核燃料プールのラック材
- 一次冷却水に溶かし込んで、加圧水型原子炉の余剰反応度制御
- 特定重大事故等対処設備の水源
- がん治療薬剤の原料（BNCT：ホウ素中性子捕捉療法）

濃縮ホウ酸の利用メリット

- ① 原子炉内の腐食環境の改善
天然品と比較して、1/5で必要¹⁰B濃度が確保できる。
低濃度での運転が可能となり、設備での腐食が低減できる。
- ② ホウ酸水の維持保管コスト低減
ホウ酸水の溶解維持のため加熱・保温が必要。
濃縮ホウ酸であれば濃度を下げることが可能であり、保温問題が低減される。
また、貯蔵タンクも小さくできる。
- ③ より確実に
緊急停止時にはより確実な制御が可能であり、また、ホウ酸は人体や環境に有害であるため、全体のホウ酸量を低減できることはメリットである。

フッ化スズ

- 2017年
FDAによるOTC虫歯予防薬の原薬である『フッ化スズ』のGMP査察が完了し、正式な公認を取得。
- 2018年
GMP対応製品として『フッ化スズ』の販売を開始。



泉工場製造棟 (大阪府泉大津市)

<フッ素の歯に対する作用>

- 虫歯菌が酸を作るのを抑制 (虫歯予防)
- 歯の再石灰化の促進
- 酸に強い歯を形成 (フルオロアパタイトを形成)

※歯の健康や美観への関心が強い欧米向けを中心に、需要を見込んでいます。

⇒ 歯磨き用以外の新たな用途も開拓中 (例：蹄殺菌)

半導体用薬液関連

- 微細化が進んでいるDRAMメーカー、多層化に進んでいる3DNANDメーカーなどからの要求に応えられる機能性薬液の開発
- ロジックやメモリーの微細化に伴い、より小さなサイズの粒子保証へ

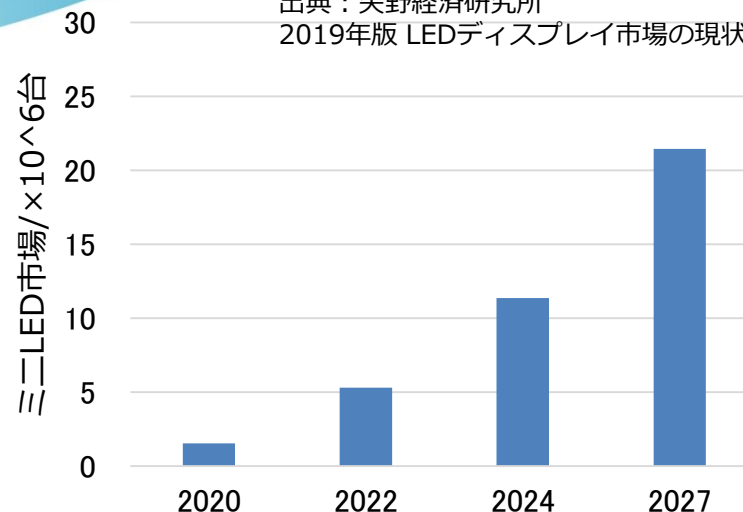


出典：矢野経済研究所
2019年版 LEDディスプレイ市場の現状と将来展望

蛍光体関連材料

- 当社コア技術を生かした高効率・高寿命のフッ化物蛍光体関連材料の開発
- 車載ディスプレイ用途へミニLEDの利用研究が注目される

- 赤色蛍光材料 LSA-61A
- 蛍光体材料 NSM、PBFS
- LED封止材用フィラー MgF₂, CaF₂ ナノ粒子



	LCD	OLED	ミニLED	マイクロLED	
構造略図	<p>カラーフィルター 液晶 バックライト</p>	<p>自発光有機材料</p>	<p>カラーフィルター 液晶 ミニLEDバックライト</p>	<p>蛍光体シート 青色LED</p>	<p>マイクロLED</p>
明るさ	×	△	○	○	
寿命	○	×	○	○	
使用温度	-40～100℃	-30～80℃	-40～100℃	-40～100℃	-40～100℃
開発状況	済	済	開発中	開発中	将来

プリント基板関連材料（低誘電率材料）

- 高周波向け通信機器用材料として、基板材料の樹脂などへの添加物（フィラー）として使用されます。

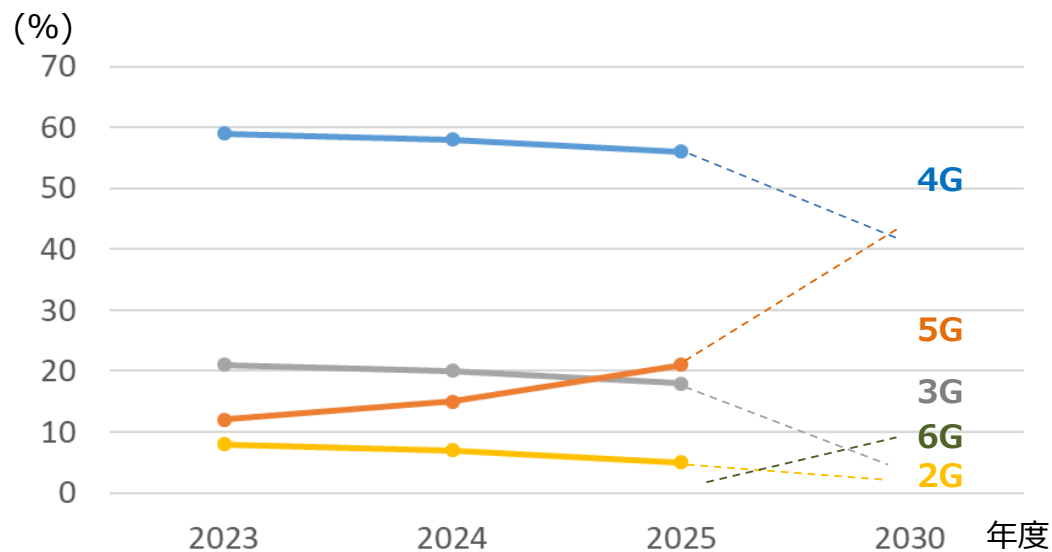
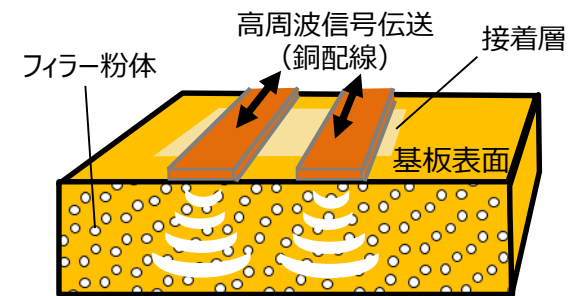
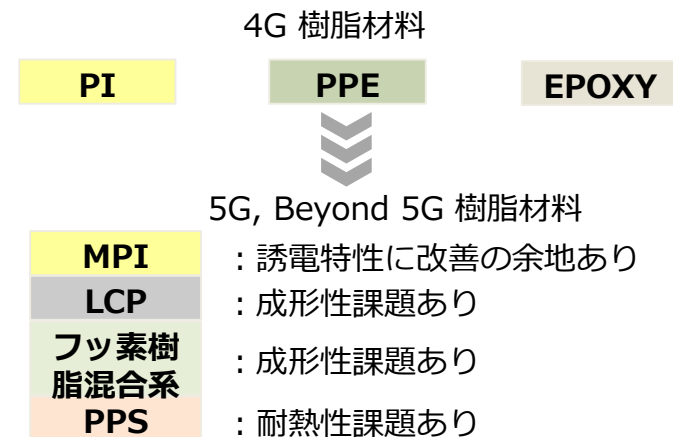


図. 世界のモバイル回線全体に占める回線比率の予測(The Mobile Economy 2020からの自社予測)



誘電体損失の抑制のためのフィラー (基板内部での伝送損失)

次世代電池の材料開発

- | | |
|--------------|------------------------------------|
| 〔金属イオン二次電池〕 | ナトリウムイオン二次電池用高純度電解質 (六フッ化リン酸ナトリウム) |
| 〔全固体二次電池〕 | 全固体電池向けフッ化物材料 |
| 〔フッ素イオン二次電池〕 | フッ素イオン伝導体材料 |



(製品情報)

光学材料関連

- ◆フッ化カルシウム
- ◆フッ化アルミニウム
- ◆フッ化リチウム
- ◆フッ化ストロンチウム
- ◆フッ化バリウム
- ◆フッ化マグネシウム
- ◆フッ化鉛

反応触媒関連

- ◆高純度三フッ化ホウ素
- ◆三フッ化ホウ素n-ブチルエーテル
- ◆三フッ化ホウ素モノエチルアミン
- ◆三フッ化ホウ素エチルエーテル
- ◆三フッ化ホウ素テトラヒドロフラン
- ◆三フッ化ホウ素ピペリジン
- ◆三フッ化ホウ素メチルエーテル
- ◆三フッ化ホウ素フェノール
- ◆トリエチルアミン・3HF

表面処理・代替フロン関連

- ◆無水フッ化水素酸
- ◆55%フッ化水素酸

原子力関連

- ◆¹⁰B濃縮ホウフッ化カリウム
- ◆¹⁰B濃縮ホウ酸

その他製品群

- ◆ケイフッ化水素酸
- ◆ケイフッ化カリウム
- ◆ホウフッ化水素酸
- ◆ホウフッ化スズ
- ◆ホウフッ化銅
- ◆ホウフッ化鉛
- ◆ホウフッ化亜鉛
- ◆ホウフッ化ナトリウム
- ◆ホウフッ化カリウム
- ◆酸性フッ化アンモニウム
- ◆フッ化ナトリウム
- ◆フッ化カリウム
- ◆フッ化ジルコニウムカリウム
- ◆フッ化チタンカリウム
- ◆精製フッ化カルシウム
- ◆六フッ化リン酸カリウム

新規開発品

- ◆薬液ライフタイムの向上に貢献する洗浄剤
- ◆シリコン・ポリシリコンのダメージを抑制した洗浄剤
- ◆電池関連 (イオン液体・ナトリウムイオン電池用電解質・リチウムイオン電池用添加剤)
- ◆各種フッ化物ナノ粒子/分散液 (マグネシウム・リチウム・イッテルビウム・カルシウム・CNP-P)
- ◆蛍光体材料関連
- ◆原子力関連
- ◆5G・6G (移動通信システム)、プリント基板関連
- ◆特殊用途無機フッ素化合物
- ◆シリコン窒化膜のエッチングを抑えた洗浄剤
- ◆フッ素化カーボンナノチューブ



※詳細はホームページにてご覧ください。

街のなかでもステラケミファ



家のなかでもステラケミファ



病院のなかでもステラケミファ



学校のなかでもステラケミファ





(HP URL)

ブルーエクスプレス株式会社

運輸事業

輸送	陸上輸送・海上輸送・鉄道輸送
通関	輸出入の通関手続き・輸出入貨物の出荷引取り業務
倉庫	最新システムを満載した〔複合機能倉庫〕を提供
コンテナサービス	ISO仕様の大型圧力容器、IBCサイズの中型圧力容器、UN仕様 IBCコンテナ等を提供するほか、それらの洗浄、整備及びリース等

通関拠点	輸送拠点	海外拠点
本社事務所	仙台営業所	シンガポール
大阪事務所	関東営業所	中国（上海）
横浜事務所	横浜営業所	
	清水営業所	
	名古屋営業所	
	本社営業所	
	神戸営業所	
	北九州営業所	

